

## お取引先・投資家への取り組み

日本化薬グループでは、お客様に最良の製品を提供するために、製品やサービスの安全性・信頼性に配慮しています。

### CSR 調達への取り組み

日本化薬は現在、CSR調達規準の作成準備を進めています。CSR調達規準とは当社の考えるCSR経営をサプライヤーの皆さまとともに取り組むため、当社の考え方をサプライヤーの皆さまに具体的にお伝えするものです。CSR調達への取り組みは次の考え方にに基づきます。当社はCSR経営を標榜し数年が経過しています。次のステップとして、価値観を共有するサプライヤーの皆さまとともにこれを実践します。これにより、なお一層社会に対する企業の責任を果たすことができると考えています。CSR調達規準は安全・品質・環境、人権と労働、コンプライアンス、情報開示、購買倫理などの企業が社会に負う責任全般を網羅する内容になります。CSR調達規準の考え方は現在お取引先をさせていただいているサプライヤーだけでなく、潜在的なサプライヤーに対しても共有されることを希望します。当社は多様な産業分野に関わっているため、対象となるサプライヤー数は企業規模に照らし相対的に多数になると考えています。



### 日本化薬と医療機関等との関係における透明性に関する指針 日本化薬と患者団体との関係の透明性に関する指針

日本化薬は、医薬品等の提供を通じて皆様の健康向上に貢献するため、研究者、医療関係者、患者団体等と相互の信頼関係を構築し、医学・薬学の基礎研究、臨床開発、製造販売後の情報提供・収集活動、安全対策の実施などの多様な活動を展開しています。創薬や医薬品の適正使用を推進するために発生する費用については医療機関等と適切に契約を締結し、適正な対価を支払っています。また、薬事法をはじめとする法規制は製薬協企業行動憲章、製薬協コード・オブ・プラクティス、医療用医薬品プロモーションコード、医療医薬品製造販売業公正競争規約などの業界自主規範を遵守しています。しかし、このような法令遵守体制に基づく企業活動を推進しても、当社からの寄附金や対価の支払いが存在するため、それらが医療機関等の判断に何らかの影響を及ぼしているのではないかと、との懸念を抱かれている可能性は否定できません。

製薬産業をはじめとする生命関連産業は、他の産業以上に、高い倫理性とその活動の透明性が求められることを踏まえ、日本化薬は医療機関、患者団体等に対する資金提供の情報をウェブサイト上で公開するための指針を作成し、支払い情報等の集計・公開のためのシステムを構築しました。

[▶ 日本化薬と医療機関等との関係の透明性に関する指針](#)

[▶ 日本化薬と患者団体との関係の透明性に関する指針](#)

### 投資家の皆さまとのコミュニケーション活動

#### ■ 決算説明会の実施

機関投資家や証券アナリストを対象とした決算説明会を、第2四半期決算および年度決算後に開催しています。日本化薬からは社長をはじめ全役員が出席し、決算や業績見通し、今後の取り組み方針を説明しています。また、第1四半期および第3四半期にはテレフォンカンファレンスを実施しています。



決算説明会

#### ■ 個別ミーティングの実施

機関投資家や証券アナリストと直接コミュニケーションを取る個別ミーティングを実施しています。

#### ■ 工場見学会の実施

日本化薬の事業活動に対する理解を深めていただくため、機関投資家や証券アナリストを対象とした工場見学会や研究開発説明会を毎年実施しています。